

如水会寄附講義 「社会実践論」講義要綱 (2016年度夏学期)

講義責任者:筒井 泉雄

オリエンテーション
2016年4月5日(火) 14時40分/15時30分
インテリジェントホール

如水会寄附講義「社会実践論」では、社会の第一線で活躍されている、本学出身の12名の先輩の方々にオムニバス形式による講義(火曜4限)をお願いしています。今回、特別講師として日本商工会議所会頭の三村明夫様をお招きし、今学生が考えるべき経済の潮流について講演していただく予定です。

本講義は、皆さんが、将来への展望に胸を膨らませ、希望を実現するための学問を涵養する指針となるように、如何に学ぶかを考える指針となるよう考えられた講義です。

「どのように人生を歩んできたか」という経験に裏打ちされた職業意識、人生哲学など、経験を踏まえた講義を、現在第一線で活躍されている先輩の方々にお願いしています。諸先輩講師陣は、自らの経験と立場から職業や産業の現状を礎に、現代社会や社会での自己実践のありかたを皆さんの前に広げてくださいます。

講義を聞き、先輩の方々の生き方やグローバルな考え方に触れ、自身と照らし合わせて考え、質疑応答、感想、意見という形で呼応し、ともに学び、皆さんのキャリア形成の第一歩を踏み出してください。

なお、本講義は、如水会及び一橋大学後援会「キャプテンズ・オブ・インダストリーを考える委員会」からの資金提供によって運営されています。「キャプテンズ・オブ・インダストリーを考える委員会」は、故永井正(22学)氏が寄附された基金をもとに、一橋大学の学問風土の活性化を目指して活動しています。

	日付	テーマ	講師
特別講義	5月 31日 (火)	経営者の苦しみと喜び	三村 明夫
第1回	4月 12日 (火)	一橋大学と如水会	岡田 円治
第2回	4月 19日 (火)	弁護士としてやりがいを感じる時	中山 ひとみ
第3回	4月 26日 (火)	ピンチは人を育てる -綾鷹とスターウォーズから学んだこと-	土合 朋宏
第4回	5月 10日 (火)	日本の医療～医療系ベンチャーからみた新産業論	菅谷 勉
第5回	5月 17日 (火)	「ホテルで働く」ということ	樋浦 裕子
第6回	5月 24日 (火)	街づくりの視座	小野澤 康夫
第7回	6月 7日 (火)	アウェーの強み	小島 明日奈
第8回	6月 14日 (火)	外交官になって思うこと——「外交は人なり」	川村 泰久
第9回	6月 21日 (火)	地方創生/まちおこし実践論～雪寄せから風力発電まで～	佐藤 裕之
第10回	6月 28日 (火)	保険業界に38年、新入社員から今日までを振り返り、思うこと	諏訪部 正彦
第11回	7月 5日 (火)	公認会計士の職業とその魅力	和久 友子
第12回	7月 12日 (火)	前向きに生きる	大野 進司

特別講義 5月31日(火)



テーマ：経営者の苦しみと喜び
講師：三村 明夫 東京大学経済学部・昭和38年（1963年）卒
日本商工会議所 会頭

新日鐵製鉄㈱(現:新日鐵住金㈱)の社長として、5年間、同社の経営の舵取りを行った経験を踏まえ、社長という「経営者」が経営層とはどう違うのか、「経営者」に必要な能力の共通性、「経営者」ゆえの苦しみと喜び、「経営者」の哲学等について、ミッタルスチールの買収戦略への対応や、住友金属工業との合併など、具体的な事例も紹介しながら、分かりやすく解説します。

第1回 4月12日(火)



テーマ：一橋大学と如水会
講師：岡田 円治 経済学部・昭和48年（1973年）卒
一般社団法人 如水会 理事・事務局長

社会実践論第1回は、「一橋大学とは何か?」です。大学の歴史は「波乱に満ちた歴史」です。その波乱の歴史の中で、生まれ、成長していった社会科学系総合大学一橋大学の精神は、日本の近代化、高度に発展した経済国家への道のりと軌を一にしたものでもあります。大学と不即不離の如水会は、その過程でどのような役割を果たしてきているのか? 通常と同窓会とは全く異なる如水会の存在と役割についても考えます。42年間のNHK人生の中で得たこと、ジャーナリズムの世界では、大学で学んだどの部分が、どのように生きるのか。単なる知識ではない、「考え方を学ぶことの大切さ」についても考えます。

第2回 4月19日(火)



テーマ：弁護士としてやりがいを感じる時
講師：中山 ひとみ 法学部・昭和60年（1985年）卒
霞ヶ関総合法律事務所 弁護士

弁護士は、所属する事務所や担当する仕事によって、随分業務のスタイルが違う。しかし、社会におけるトラブルの解決とその予防を目指すということは共通している。何らかのトラブルを抱えてやってくる依頼者のために、その事案に相応しい解決策を模索し、アドバイスをしたり、紛争の相手と交渉をしたり、訴訟を提起したりする。人のトラブルに関与する職業であるから、精神的なタフさが必要である。また、誰も考えたことのないような問題に立ち向かわなければならないことも多い。厳しい倫理が課される職業でもあり、勇気をもって決断を下さなければならないこともある。私の弁護士としての日々の経験から、そのやりがいを皆さんにお伝えできればと思う。

第3回 4月26日(火)



テーマ：ピンチは人を育てる 一綾鷹とスターウォーズから学んだこと
講師：土合 朋宏 商学部・平成2年（1990年）卒
商学研究科修士課程・平成5年（1993年）卒
20世紀FOX ホームエンターテイメントジャパン株式会社 代表取締役社長

僕はこれまでずっとマーケティングの仕事に携わってきました。前職の日本コカ・コーラでは、ブランドマネージャーとして既存ブランドを成長・再活性化させる仕事や、新ブランドの開発・立ち上げを担当し、現在の会社ではマーケティングの責任者を経て現職に就いています。講義の前半は日本コカ・コーラで開発責任者として携わった「綾鷹」の新製品開発ストーリーを題材に、ゼロから新しいことを生み出すことの難しさ・楽しさをお伝えします。後半は20世紀FOXで「スターウォーズ」のブルーレイ発売計画をサンフランシスコの「ルーカスフィルム」に提案した経験を題材に、海外の人と交渉するコツを伝授します。そして最後に、外資で働くこと、海外の人と対等に働くことについて考えてみたいと思います。昨年の講義とほぼ同じ内容ですので、前回履修者は内容をバラさないように! また希望があれば、昨年の履修者限定で、別途30分のシークレット講義を検討します。

第4回 5月10日(火)



テーマ：日本の医療～医療系ベンチャーからみた新産業論
講師：菅谷 勉 社会学部・昭和49年（1974年）卒
ノーベルファーマ株式会社
常務執行役員 管理本部長（管理統括）
医療・薬業如水会 会長

わが国の医療は「国民皆保険制度」に裏打ちされ、世界に冠たる健康・長寿社会を支えているといわれています。皆さんが医者にかかる時、何を考えますか? 医療サービスの価格はどのように決められているのでしょうか? サービスの質や価格について、経済学の目線で考えたことはあまりないでしょう。私は三菱化成(現三菱化学)に入社し、ひょんなことから医薬品の世界に関わり合い30年以上が過ぎました。医療・ヘルスケア産業はアベノミクスの成長戦略の柱の一つです。わが国の医療保険制度を紐解き、医療経済論および産業論としての医療についてみなさんと一緒に考えながら、ひとりでも多くの一橋人が医療におけるキャプテンズ・オブ・インダストリーを目指していただければ幸いです。

第5回 5月17日(火)



テーマ：「ホテルで働く」ということ
講師：樋浦 裕子 社会学部・平成16年（2004年）卒
株式会社京王プラザホテル
料飲部 料飲オフィス

「自分自身が商品となり、お客様に感謝される仕事がしたい。好きな英語も活かして一石二鳥！」と思い立ち、サービス業のアルバイト経験もないまま、ホテル志望で就職活動をしたのは2003年の春。13年の時を経て、ホテル業界を取り巻く環境も、私自身の仕事に対する考え方も、大きく変わりました。コンシェルジュ、ウェイトレス、バーテンダー、セールスマン…。多種多様なプロフェッショナルが集い、ドラマや小説の舞台にもなるホテルという場と、一橋で学んだ社会科学はどう繋がっているのか。一橋OBだからこそすべきこと、できることは何か。一人でも多くの方に感じてもらえれば幸いです。

第6回 5月24日(火)



テーマ：街づくりの視座
講師：小野澤 康夫 商学部・昭和56年（1981年）卒
三井不動産株式会社 常務執行役員

皆さんは「都市再開発」という言葉を耳にされたことはありませんか。東京ミッドタウンや六本木ヒルズに代表されるような大規模再開発型のプロジェクトは、そもそもどういった動機付けや目的意識によって推進されているのでしょうか。様々なステークホルダーとの利害関係の中にあって、デベロッパーはいかなる道筋をたどってプロジェクトの最適解を求めてゆくのか。今回は、現在進行中のプロジェクトをケースに使う、街づくりに精魂を傾けるデベロッパーの苦労と歓びの一端をご紹介しますつもりです。講義と云うと堅苦しい印象ですが、「(「ようこそ先輩」+「プロジェクトX」)÷2のようなことが出来たらと思っています。それでは皆さん、五月にお逢いしましょう。

第7回 6月7日(火)



テーマ：アウエーの強み
講師：小島 明日奈 社会学部・昭和59年（1984年）卒
株式会社毎日新聞社 執行役員
東京本社「教育と新聞」推進本部 本部長

「いったい何しにきましたん？ まさか女に記者ができると思っていないだろうねえ」。男女雇用機会均等法施行前の新聞社って、まだそんな感じでした。ただ記者として触れる実社会は、目を見開かせてくれることばかり。市井の人にいかにも多くのことを教えられたか。それから30年ちょっと。ここ10年はマネジメントにかかわり、アウエーでの闘いが続いています。でも、アウエーならではの強みも。親としては30点。仕事と家庭の両立はありうるのか。これからの働き方、生き方を皆さんと考えていければうれしいです。

第8回 6月14日(火)



テーマ：外交官になって思うこと——「外交は人なり」
講師：川村 泰久 法学部・昭和56年（1981年）卒
外務省 外務報道官

外務省に入り35年が過ぎました。日本は経済大国からODA大国、更にはスマートパワーへと大きく立ち位置を変えました。日本は平和国家として国際社会の信頼を得てきましたが、近年、パブリック・ディプロマシーを駆使した国際的競争が激化してきています。私は今、外務報道官として対外発信を強化して、日本が世界から一層の信頼を得られるよう日々奮闘しています。国益をかけた国と国の外交は厳しいものですが、外交もその基礎には人がおり、人との話し合いで、また出会う相手によって結果が左右されたりします。「外交は人なり」。講義では私の外交官生活で出会った人に焦点を当てて国際社会での人間模様を詳らかにしつつ、皆さんが国際社会と渡り合い、力強く生き抜いて行くための課題を一緒に考えたいと思います。

第9回 6月21日(火)



テーマ：地方創生／まちおこし実践論～雪寄せから風力発電まで～
講師：佐藤 裕之 法学部・昭和63年（1988年）卒
株式会社ウェンティ・ジャパン 代表取締役社長
羽後設備株式会社 代表取締役社長

「地方創生」が叫ばれています。私は長年、衰退する地方の先頭を走る秋田で、日本が元気になる鍵は地方の「再生」だと叫びながら、さまざまな地域興しに関わってきました。そして今、秋田を風力発電のメッカにしようと呼びかけています。私がここに至った経緯と取り組みをご紹介します。地方に生きることを面白くお伝えしたいと思います。そして、地方と中央、超高齢化社会、東日本大震災とエネルギー…。これらをキーワードに、これからの日本のあり方を皆さんと考えてみたいと思います。

第10回 6月28日(火)



テーマ：保険業界に38年、新入社員から今日までを振り返り、思うこと
講師：諏訪部 正彦 経済学部・昭和54年(1979年)卒
東京海上日動火災保険株式会社 常務執行役員

当時の東京海上が保険会社かどうか良く調べず、ただ先輩の薦め(弊社は一橋卒業者が大変多く入社し活躍している会社でもあります)だけを頼りに入社試験を受け、なぜか合格してから38年、還暦の今年もここで働いています。保険業界の規制緩和・自由化は1996年から98年を指しますので、半分を規制時代、半分を自由化時代で働いたことになるわけで、保険業界の変遷と現在にも触れながら、社会人としての38年を振り返っての「気づき」を先輩の皆さんにお伝えします。これから皆さんが社会に出ると、おそらくいろいろな荒波に揉まれることになりますので、そのとき、少しは役に立つ乗り越え方らしきものがお話できれば、と思っています。

第11回 7月5日(火)



テーマ：公認会計士の職業とその魅力
講師：和久 友子 商学部・平成5年(1993年)卒
有限責任 あずさ監査法人 パートナー 公認会計士

公認会計士が独立した第三者として行う監査という業務。これにより企業が投資家等の利害関係者に対して行う財務報告に対して信頼性が担保されます。近年の経済活動のグローバル化の進展により、上場企業の財務報告が大きく変化するとともに、公認会計士の監査のプロセスもダイナミックに変化しています。諸外国では金融危機を契機に監査の透明性の確保が叫ばれ、現在、我が国でも大きな課題となっています。

本講義では、私自身の大学卒業後から現在に至るキャリアの変遷とともに、そのときどきの経済事象とそれが会計監査にどのような影響をもたらしたのかを振り返りながら、公認会計士の監査という職業とその魅力についてご紹介できればと思います。

第12回 7月12日(火)



テーマ：前向きに生きる
講師：大野 進司 社会学部・平成10年(1998年)卒
株式会社文明堂東京 代表取締役社長

第一志望であった電機メーカーに営業として入社したものの、数年後、新聞に所属部門のライバルとの経営統合が掲載され驚愕する。その後、統合プロジェクトに選ばれるも苦難の連続。分社・合併・転籍ののち、労働組合での悩み事相談、営業から企画、マーケティングなどへの数々の異動を経て、運命の出会い。そしてなぜか老舗カステラ屋の社長へ。会社員として7年、経営者として11年の波乱の実体験を振り返りながら、周囲の環境に翻弄されず、豊かに楽しく人生を過ごすためには何が必要なのかを考えてみたいと思います。